

京都府内の支援の現場で働くすべての方へ

職種や経験を問わず、関心のある方なら
どなたでもご参加いただけます

令和8年度 心理療法セミナー

参加
無料

子ども・若者の自傷・自殺への
理解と支援
～愛着とトラウマの視点から～

講師

京都府立洛南病院 診療部長

ゆき た ありふみ

幸田 有史 先生

令和8年10月29日（木）

14:00～17:00（開場13:30～）

会場

京都府精神保健福祉総合センター 体育室

（京都市伏見区竹田流池町120）

地下鉄「くいな橋駅」下車 北口（1番出口）すぐ

定員

40名（参加無料）

京都府精神保健福祉総合センター

● セミナー概要

複雑な背景をもつ児童青年期の困難ケースについて、多様な視点から評価し、総合的な見立てと支援のあり方を考えます。あわせて、教育・福祉・医療・行政等の支援者が連携し、支援を展開していくための実践的な考え方や手法を学びます。後半は、参加者から寄せられた事例や支援上の課題をもとに、講師からの助言や意見交換を通して理解を深めます。

● 講師からのメッセージ

平成5年に医師となり、精神医学を学んだ後、20年間にわたり京都市児童福祉センターで児童精神医療に携わってきました。その間、不登校支援、TEACCHをはじめとする自閉症療育、被虐待児支援、複雑性トラウマ治療、EMDRなどの実践を重ねてきました。その後、ももの木学園設立に伴い京都桂病院へ移り、さらに児童精神科病棟の新設準備のため洛南病院に赴任しました。現在は精神保健指定医として児童精神科救急に携わるとともに、若手育成にも力を注いでいます。地域や関係機関との連携のもと、支援ニーズの把握からトリアージ、治療・支援までを担い、自傷・自殺未遂、薬物乱用、家庭内暴力、トラウマ関連障害、発達障害に伴う二次障害や強度行動障害、不登校・ひきこもり、精神病症状、反抗挑戦性障害・素行障害など、幅広い課題に対応しています。

本セミナーでは、そうした困難ケースをどのように理解し、家族や地域、教育現場へと支援をつなぎ広げていくのか、多層多軸な見立てと多職種連携の視点から、今後の支援のグランドデザインについて皆さまと共有し、ともに考える機会にしたいと思います。

● 申し込みについて

申し込みフォーム：<https://forms.cloud.microsoft/r/7iZpuyCjAs>

【申し込み締め切り：令和8年10月22日（木）】

※定員に達し次第、締切りますので御了承ください
※申し込みフォームがうまく開けない場合は、下記までお問い合わせください



＜お問い合わせ＞ 京都府精神保健福祉総合センター 相談指導課 西浦
TEL：075-641-1810 E-mail：mhc-d@pref.kyoto.lg.jp